

今後の汚水処理のあり方に関する検討会（第1回） 議事概要

1. 日時：平成22年4月19日（月） 16:30～17:30

2. 場所：農林水産省 特別第3会議室

3. 出席者：

佐々木農林水産大臣政務官、三日月国土交通大臣政務官、大谷環境大臣政務官

4. 議事概要

【政務官あいさつ】

○三日月国土交通大臣政務官

水に関する政策は21世紀にも重要。自治体にとっても、国民にとっても使いやすい制度にするため、省を超えて議論していきたい。

○大谷環境大臣政務官

政治主導で省庁を超えて国民本位の議論をしていくべき。生活排水は安全・安心に、財政的には早く、安くが重要である。

○佐々木農林水産大臣政務官

農業集落排水事業は、農業集落の環境整備と共同で効率的に実施してきた。農林水産省も一緒に検討していきたい。

【各汚水処理施設のこれまでの取り組みと課題について】

○各省から各汚水処理施設の取り組みと課題について説明が行われた。

○その後、

・都道府県構想策定の経緯、見直し状況

等について質疑があった。

なお、事務局から汚水処理施設の経済性比較手法としての汚水処理原価の活用について補足のコメントがあった。

【今後の進め方について】

○有識者等委員会の設置、自治体へのアンケート実施について了承され、アンケート実施内容等についてゴールデンウィーク明けに第2回検討会を開催し意見交換を行うこととなった。